

中学校音楽科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)				採点上の注意	配点		
1	1	※ 別紙 (計1枚)				問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。 正確で読みやすい記譜の表記であること。 演奏が可能な音域で創作されていること。 和声が適切な進行であること。 (和音にふさわしい旋律、和声法に基づいた進行) 創造性豊かな表現の工夫が見られること。(装飾的な要素、リズム、対照、音の重なり、カノンなど)	60	70
	2	※ 別紙 (計1枚)					10	
2	題材名 (曲の構成を工夫して、俳句の言葉によるリズムアンサンブル曲をつくろう)				題材名は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。 学習活動は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。	30		
	時間	学習活動						
	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉のもつ抑揚やリズムを生かし、即興的に声に出しながら言葉によるリズムをつくる。 ・「しづかさや いわに しみいる せみのこえ」の言葉にリズムをつける。 ・既習の学習内容であるリズムや強弱等を変化させた表現を即興的に試みながら、リズムリレーをする。 ・友達とリズムを重ねたり、反復させながら強弱や速度等を変化させたりして、面白さを味わう。 						
	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ リズムの重ね方や全体の構成を考えながら、グループで俳句を使ったリズムアンサンブル曲をつくる。 ・言葉のもつ抑揚やリズムを生かし、一人一人が俳句の言葉にリズムをつける。 ・一人一人がつくった言葉のリズムの重ね方や、反復、変化、対照等の構成について、グループで考える。 ・実際に声に出しながら、リズムの重なり方や強弱・速度等の効果を試す。 ・リズムの重なり方や全体の構成が視覚的にとらえられるように、ワークシートに文字、絵、図、記号等で記録する。 						
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 反復、変化、対照等の構成を意識して、つくったリズムアンサンブル曲を演奏する。 ・グループごとにつくったリズムアンサンブルの演奏を聴き合う。 ・それぞれのグループの演奏について、構成の工夫による効果が表れているか等、グループや全体で意見交流を行う。 ・意見交流の内容を踏まえて再構成し、俳句の言葉によるリズムアンサンブル曲を完成させる。 							
3	1	(a)	室町			各5×4	30	
		(b)	シテ					
		(c)	ワキ					
		(d)	囃子方					
	2	(1)	(オ)	(2)	(ウ)	各5×2		

中学校音楽科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 【例】		採点上の注意	配点		
4		<p>テクスチャや形式に着目しながら構造をとらえ、それぞれの声部をどのような声の音色、強弱、言葉の発音で歌ったら全体の響きがよりよくなるかを聴き取って、表現に生かすようにする学習活動。</p>		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
5	1	(ア)	アメリカ合衆国		各 3 × 2		
		(イ)	トルコ				
	(2)	(a)	カッワーリー		各 3 × 2		
		(b)	ヨーデル				
2	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物ごとに旋律を取り出し、調性、強弱、音の高さ等に注目して聴かせ、それらの変化を聴き取らせる。 それぞれの登場人物の旋律の音の高さや声の音色を比較することによって、それぞれの人物像を捉えさせる。 楽譜から、調性や音の高さ等の変化について視覚的に捉えさせる。 ピアノ伴奏の形に着目して聴かせ、その変化と場面の様子との関わりについて捉えさせる。 旋律の特徴や伴奏の変化について、作曲家の意図を考えさせる。 		1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10			
6	1	(ア)	17～18世紀のヨーロッパで広く行われたもので、鍵盤楽器奏者、又はハープ、リュートなどの撥弦楽器奏者が、与えられた低音の上に、即興で和音を捕いながら伴奏声部を完成させる方法、及びその低音部のこと。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 4	
		(イ)	1879(明治12)年に文部省内に創設され、西洋音楽中心の音楽教育の基礎を築いた、日本最初の官立の音楽教育機関名のこと。				
		(ウ)	速く、生き生きと。				
		(エ)	口を開けた柔らかなハミングで。				
	2	(ア)	楽 曲 名	ピアノ協奏曲第1番 変口短調作品23	作 曲 者 名	チャイコフスキー	各 3 × 4
		(イ)	楽 曲 名	交響詩「ティル・オイ レンシュピーゲルの 愉快ないたずら」作品 28	作 曲 者 名	リヒャルト・シュ トラウス	
7		生徒が音楽に関する言葉を用いて、音楽に対するイメージ、思い、意図などを相互に伝え合う活動。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		

1 1

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

AR

Guitar

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

1 2